平成28年2月8日

資料4

相談支援PT

**計画相談の効果と課題**

（職員アンケートまとめ）

**１　効果・成果**

・給付の適正化

…障害・疾病状況に応じたサービス調整が機能。

…支給量見直しの明確な根拠として機能。

利用実態の把握、偏ったサービス実施の是正、余分なサービスを減らす申請の増加、

サービス利用の工夫　　など支給決定しっぱなしを検証・修正する機能

・情報の充実～支援の見える化／タイムリーな情報共有

・ケアマネジメントの導入

…俯瞰的統合的な視点での検討。また、長期的視野から逆算してスモールステップを作りモニタリングを重ねることで真の自立支援が可能となった。

・“本人中心”の実現

…本来の意味の「ケアマネジメント」（保護的でも冷淡でもなく、本人に寄り添って希望の生活の実現を目指す）に基づいたサービス実施に近づいている。

…本人ニーズのキャッチと明確化。追加・変更申請が増加。

　…自ら主張できない人に対して、アウトリーチ型の支援を確保。

…本人のニーズ・困りごとに熱心に応じられ、本人の意識が変わっていく。エンパワメント。

・実利用へのつなぎ役

　…本人に合った事業所、通いたいと思える事業所への連結。利用開始後のフォロー。

・措置的対応からの真の脱却

・面談訪問の充実

　…年１回の更新時訪問から、年2回以上の訪問となり、人間関係を深め相談に乗ってもらいや

すい環境が整うこととなった。

・区職員の業務の移行

　…本人からの問合せ、手続きの同行や代行が減っている。

・区職員で応じきれないことへの対応

　…土日、夜間への対応。電話・メールを駆使しながら効率的な対応。

　…区職員に話しづらいことを相談対応。

　…作業所やGHの見学、通院等の同行支援。

・職員の役割の変化

　…多角的、客観的な視点で支援を見直し、チーム支援を推進しつつある。

・虐待防止・権利擁護として機能

　…病状悪化も含めて、早期発見

・横のつながりが向上

　…対応が困難かつ多くの支援者が関わるケースについて、方針を統一し関係者間の連携がしやすくなった。当初よりも議論が深くなっている。

・保護者の介護負担軽減

　…支援につながり、社会経験が増えた結果として。

・安心感の醸成

　…いつでも相談できるというのは安心で、専門員とかなり関係性が構築できた利用者も。

**２　課題**

●運用面

・事業所誘致　…残り40名の専門員の確保、不足地域の解消

・バラつきの解消（質の担保）　…人材育成

・計画相談のビジョン、ミッション、タスクの明確化　…人材育成のベースになる

・区職員の業務シフト　…プラン・モニタリングの検証とフィードバック

・運用の検証　…モニタリング頻度、基本相談の在り方、困難ケースの偏り

●制度・体制面

・報酬の単価と回数に関する適正化

・地域課題に関する協議（大きなケアマネ）

・連携構築の場

・官民協働の場

・当事者の参加

・委託相談、地域包括支援センター型、協議会部会

**３　その他**

・地域活動支援センターⅠ型、地域移行支援、地域定着支援との兼ね合い

・サービス利用にならない人への相談の担保

・セルフへの対応の在り方

（以上）